

生徒から出てきた質問と今現在答えられる範囲の回答

Q：5教科は入試当日テストがあるけれど、4教科は入試にどのように関係しているの？

A：まず、4教科が直接関係する入学試験があるのは、主に専門学科の試験です。公立高校で言えば、特別選抜を実施する高校がこれにあたり、例えば、美術科のテストには、美術の実技テストが、体育科のテストには体育の実技テストがあります。もちろん私立高校でも、実技テストを実施している学校が、少ないですがあります。

次に、入試当日のテスト以外の部分ですが、「調査書の評定」で4教科が関係してきます。調査書の評定とは、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、英語の9教科の5段階評定がもとになっています。9教科の評定がオール5だったとすると、 5×9 教科 = 45。ただし、2018年度入試から1～3年生の評定が反映されるようになったため、1年生の評定：2年生の評定：3年生の評定 = 1：1：3の割合で、入学者選抜に使われることになります。大阪府教育庁はすでに『令和4年度大阪府公立高等学校入学者選抜における総合点算出にあたっての「学力検査の成績」及び「調査書の評定」にかかる倍率のタイプについて』を公表しています。それが以下のようなものです。

◆特別入学者選抜

学力検査の成績 (満点：45点×5教科=225点)
 調査書中の各教科の評定 (満点：3学年の5段階評定×3倍×9教科+2学年の5段階評定×1倍×9教科+1学年の5段階評定×1倍×9教科=225点)
 総合点を算出するにあたって、学力検査の成績及び調査書の評定にかかる倍率は、次のIからVの5つのタイプである。

倍率のタイプ	学力検査の成績にかかる倍率	調査書の評定にかかる倍率	学力検査の満点	調査書の満点	総合点*	【参考】学力検査の成績と調査書の評定の比率
I	1.4倍	0.6倍	315点	135点	450点	7：3
II	1.2倍	0.8倍	270点	180点		6：4
III	1.0倍	1.0倍	225点	225点		5：5
IV	0.8倍	1.2倍	180点	270点		4：6
V	0.6倍	1.4倍	135点	315点		3：7

*実技検査を実施する学科の総合点には、実技検査の成績が加わります。

◇一般入学者選抜 (全日制の課程)

学力検査の成績 (満点：90点×5教科=450点)
 調査書中の各教科の評定 (満点：3学年の5段階評定×6倍×9教科+2学年の5段階評定×2倍×9教科+1学年の5段階評定×2倍×9教科=450点)

総合点を算出するにあたって、学力検査の成績及び調査書の評定にかかる倍率は、次のIからVの5つのタイプである。

倍率のタイプ	学力検査の成績にかかる倍率	調査書の評定にかかる倍率	学力検査の満点	調査書の満点	総合点	【参考】学力検査の成績と調査書の評定の比率
I	1.4倍	0.6倍	630点	270点	900点	7：3
II	1.2倍	0.8倍	540点	360点		6：4
III	1.0倍	1.0倍	450点	450点		5：5
IV	0.8倍	1.2倍	360点	540点		4：6
V	0.6倍	1.4倍	270点	630点		3：7

この大阪府教育庁が出している表を見ると、倍率のタイプがI～Vまでであることがわかります。倍率のタイプがI～IIは入学者選抜当日の学力検査の成績を重視しています。タイプIIIは当日の学力検査と調査書の評定が同じ割合、タイプIV・Vは入学者選抜当日の学力検査より、調査書の評定を重視しています。大阪府の公立高校の場合、夏ごろに公表される高校ごとの倍率のタイプをチェックしてください。

さて、結論を言いますと、受ける学校によってもかわるのですが、どの高校を受けようが(私立高校でも)、調査書の提出を出願時に求められる限り、その部分で4教科の成績が関わってくるのです。だから、普段の授業を真剣に受け、積極的に学ぼうとすることこそがまず大切になるわけですね。

7月9日(金)から期末懇談です!

3年生は修学旅行の関係で、他学年よりも早く個人懇談が始まります。1学期はそこまで細かく進路の話し合いとなることはありませんが、進路選択や制度に対する疑問点が出てきましたら、担任や進路担当に遠慮なくご相談ください。

久々子湖で貴重なシジミをゲットしたよ!

